

科目名	16. 介護過程総論		
担当講師	黛 真人	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年・通年
評価基準	筆記試験（中間試験 30%、期末試験 50%） 各提出物（20%） 授業態度：欠席 1 コマにつき、2 点減点 遅刻・早退 1 回につき 1 点減点 筆記試験：15 回目に中間試験、年度末に筆記試験をおこなう		
目標	○介護過程の意義・目的について学び、計画的な支援提供とチームケア・多職種連携の必要性を理解できる。 ○介護過程の実践的展開について学び、利用者の状況に応じたアセスメント・計画の立案・実施・評価の一連のプロセスを理解できる。		
回	講義内容	方法	
1	オリエンテーション ～介護過程で学ぶこと～	講義・演習	
2	介護過程の意義と目的を理解する	講義・演習	
3	介護過程の基本視点 ICF の考え方と介護過程の必要性	講義・演習	
4	介護過程の全体像 ICF にもとづいて情報を整理する	講義・演習	
5	介護過程の全体像 アセスメントについて	講義・演習	
6	介護過程の展開：アセスメントの理解（アセスメントの基本的視点）	講義・演習	
7	介護過程の展開：アセスメントの理解（情報収集の理解）	講義・演習	
8	介護過程の展開：アセスメントの理解（解釈・関連付け、統合化）①	講義・演習	
9	介護過程の展開：アセスメントの理解（解釈・関連付け・統合化）②	講義・演習	
10	介護過程の展開：アセスメントの理解（アセスメント表の作成）	講義・演習	
11	介護過程の展開：介護計画立案の理解（長期目標・短期目標の設定） 【提出物①】	講義・演習	
12	介護過程の展開：実施	講義・演習	
13	介護過程の展開：評価	講義・演習	
14	介護過程の展開の復習	講義	

15	中間試験		試験
16	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の整理①	講義・演習
17	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の整理②	講義・演習
18	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の整理③【提出物②】	講義・演習
19	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の整理④	講義・演習
20	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の解釈・関連付け①	講義・演習
21	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の解釈・関連付け②	講義・演習
22	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の解釈・関連付け③	講義・演習
23	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	情報の解釈・関連付け④ 【提出物③】	講義・演習
24	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	イメージの共有	講義・演習
25	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	生活課題の抽出①	講義・演習
26	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	生活課題の抽出②	講義・演習
27	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	生活課題の抽出③ 【提出物④】	講義・演習
28	介護過程の実践的展開：事例の検討 1	生活課題の共有 生活課題の表現方法	講義・演習
29	介護過程総論まとめ		講義・演習
30	筆記試験		試験
	テキスト・参考書	最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程 中央法規出版 事例で読み解く介護過程の展開 中央法規出版（参考書） 「よくする介護」を实践するための ICF の理解と活用 中央法規出版（参考書） ※他必要に応じて資料を配布する。	